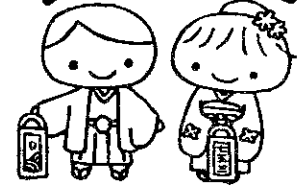




すくすくだより



11月に入り、朝晩の肌寒さを感じられるようになってきました。今月は、「文化の日」「勤労感謝の日」と祝日も多く、絶好の行楽シーズンですね。秋といえば日本人の心を和ます「紅葉」、今年の猛暑がどう影響するのが気になります。

また、他に気になる情報は、所々からインフルエンザの流行を耳にすることです。まだ早いと思われる方も多いと思いますが、今月号は昨年世間を脅かした「新型インフルエンザ」の現状と対策についてお話しします。



新型インフルエンザに学ぶこと



昨年は未知の「新型インフルエンザ」の流行に、不安に怯える日々でした。昨年の流行から2つの特徴、「ウイルスが直接肺に入って増え、急な肺炎になり低酸素になりやすい」「季節性のインフルエンザに比べ、年長児（5歳以上）の脳炎の発症が多い」ことが分かりました。

インフルエンザの感染ルートは、インフルエンザウイルスが含まれる「咳」「くしゃみ」「会話のとき飛ぶつば」によって感染する飛沫感染です。

そこで、インフルエンザの感染予防の基本は「ウイルスを体に入れない」ことになります。また、インフルエンザに感染する人が増えれば、抵抗力の低い乳幼児や高齢者が「肺炎」「脳炎」にかかり、重症化する可能性が高くなります。私たち大人は、インフルエンザの犠牲になる人が増えないよう「人にうつさない、感染を広げない」ことを意識し、下記の予防方法を実践しましょう。

今日から始めよう、インフルエンザ予防

《日常生活の注意》

- ・「意識的にうがい、手洗いをしましょう」
- ・「マスクを着けましょう」
- ・「流行時期は、人ごみを避けましょう」

《ワクチン接種》

従来のワクチンはAソ連型とA香港型、B香港型の混合でした。今年は、昨年Aソ連型が流行しなかった代わりにA型の新型を加えた1本のワクチンが生産されています。

ワクチン接種をするとインフルエンザウイルスに対する抗体*ができます。ワクチン接種をしてもインフルエンザの感染を防ぐことはできませんが、感染しても重症化を防ぐことはできます。

※ウイルスや細菌などの異物が入ったとき、体を守ろうとして対抗する物質



インフルエンザを発症してしまった場合は、しっかり休養をとり自分の抵抗力でウイルスを体へ追い出して治すことが基本です。命にかかわる重症化を予防のためにも、重症化のサイン「意識レベルの低下」「けいれん」「異常行動」「激しい咳」「浅く速い呼吸」「陥没呼吸」が見られた場合は、すぐに病院に受診しましょう。

3歳児健康診査は受けましたか？

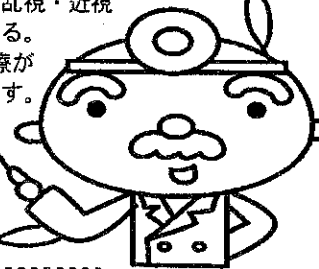
3歳4か月～5か月頃に3歳児健康診査の案内を対象のお子さんにお送りしています。まだ、3歳児健康診査を受けていないお子さんは、毎週木曜日の午後実施していますので、受けましょう。

3歳児健康診査の次は小学校に入学する前の就学時健康診断になります。3歳児健康診査は、身長・体重の計測や小児科・眼科・歯科の診察にフッ素塗布を一緒に受けられる良い機会です。この機会にお子さんの成長を確認するとともに、普段育児について困っていることや悩んでいることなど相談してみても、どうでしょうか？また、不同視弱視（片側に強い遠視・乱視・近視などの屈折異常があると、その眼の網膜像は不鮮明となる。このため視力発達不全が生じる。）は3歳で発見され治療が開始されれば、就学前には治療できるともいわれています。

この機会にぜひ、健診を受けましょう。

お送りした健診票がない方などはご連絡ください。

連絡先：こども保健課 39-9153



11月の健診日程のお知らせ

4か月児健診：3～4か月児

(受付 9:00～10:30)

2・9・16・30日

1歳6か月児健診：1歳7～8か月児

(受付 12:50～14:00)

10・17・24日

3歳児健診：3歳4～5か月児

(受付 12:50～14:00)

4・11・18・25日

場所 保健所・保健センター

(中野町字中原「ほいっぶ」内)

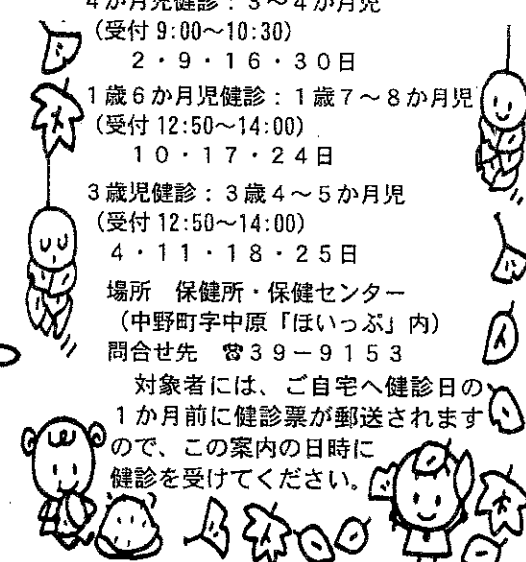
問合せ先 ☎39-9153

対象者には、ご自宅へ健診日の

1か月前に健診票が郵送されます

ので、この案内の日時に

健診を受けてください。



豊橋市役所 保育課 保健だより 2010年11月1日

作者のつぶやき...

例年がない短い秋になりそうですが、皆さん秋を楽しんでいますか。秋は気候が良く、旅行などの行楽、美味しい秋の味覚、新作の洋服でおしゃれなどを楽しめる季節です。

しかし、今年の夏の猛暑で秋服の販売は低迷、農作物も不作と私たちの生活に大きな打撃を与えています。加えて、これからの季節に欠かせないインフルエンザワクチンの原料となる「卵」を産む鶏も、暑さで夏バテになりワクチンの生産が遅れているようです。

今年の暑い夏は、私たちの生活に大きく影響を残していますね。

